



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年7月30日

上場会社名 かどや製油株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2612 URL http://www.kadoya.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小澤 二郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理部長 (氏名) 戸倉 章博 TEL 03-3492-5545  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	6,748	17.9	326	△5.5	488	30.1	284	23.9
27年3月期第1四半期	5,721	0.7	345	△45.0	375	△52.1	229	△51.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	30.24	—
27年3月期第1四半期	24.40	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	25,805	20,718	80.3	2,204.09
27年3月期	26,777	20,846	77.9	2,217.75

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 20,718百万円 27年3月期 20,846百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期（予想）	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	13,000	11.6	500	△14.3	900	34.0	580	42.9	61.70
通期	25,500	6.0	1,200	47.9	1,750	7.9	1,100	15.0	117.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	9,400,000株	27年3月期	9,400,000株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	179株	27年3月期	179株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	9,399,821株	27年3月期1Q	9,399,821株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

尚、上記予想に関する事項は添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、昨年度から続く円安、株高を背景に国内景気は回復途上であり、一方、欧州の債務問題等による世界経済の不透明感もあり、国際金融市場は安定しておらず、今後の動向は先行きの見えない状況となっております。

食品業界におきましては、輸入仕入価格等の上昇に対応し、製品値上げが相次いで実施されました。しかし、消費者の食への関心は年々高まっており、企業には安全、品質および価格が求められています。

このような状況下、当社は原料価格の高騰に対しては、販売価格の改定を行い適正価格での販売を行って参りました。前期上期は他社値上げが遅れ、また、消費税の増税等による影響で販売数量が落ち込みましたが、下期では家庭用ごま油は同業他社も当社と同様値上げを実施したことで、当社製品との価格差が縮まり、結果、ごま油全体の販売数量は前年同期比6.3%増、食品ごまは同業他社との競合等もあり前年同期比2.3%減となりました。また、売上高はごま油の販売数量の回復や製品値上げにより前年同期比17.9%増となりました。

コスト面では、委託加工費や修繕費の減少等があったものの、販売数量増加による処理量が増えたこと、原料の払出価格が前年同期比で上回ったこと等から、売上原価は前年同期比17.9%増となりました。

一方、販売費及び一般管理費は、家庭用ごま油等の拡販により拡売条件費等の販売経費が増加し前年同期比24.1%増となりました。

この結果、売上高は6,748百万円(前年同期比1,027百万円増)、経常利益は488百万円(前年同期比113百万円増)、四半期純利益は284百万円(前年同期比54百万円増)となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

## ①ごま油事業

ごま油事業におきましては、円安や原料の高騰により暫時製品値上げを実施して参りましたが、緩やかではあるものの同業他社の値上げが進んできたことで当社製品との価格差が縮まったこと、昨今のごま油やオリーブオイル等のプレミアムオイルが注目されたこと等から、利益率が高い家庭用ごま油を中心にごま油の販売数量は前年を上回りました。また、売上高につきましても販売数量の伸長及び値上げにより前年を上回る結果となりました。

原料購入価格は前期より低下しつつありますが、円安もあり高騰した原料を使用した仕掛品や製品の在庫への影響もあり、単位当たりの原価は前期を上回る状況であります。

こうした環境下において、当社は家庭用ごま油の販売数量の回復を図るべく拡販に努めております。

以上の結果、売上高は5,549百万円(前年同期比952百万円増)、セグメント利益は271百万円(前年同期比47百万円増)となりました。

## ②食品ごま事業

食品ごま事業におきましては、ごま油同様、製品値上げを実施したものの、同業他社との競合により同事業全体では販売数量が落ち込みながらも、値上げにより売上高は前年を上回りました。また売上原価はごま油と同様に、前年を上回る状況であります。

こうした環境下において、当社は付加価値が高い新製品の拡販の為、新規設備導入を行い利益確保のための対策を実施しております。

以上の結果、売上高は1,196百万円(前年同期比73百万円増)、セグメント利益は53百万円(前年同期比67百万円減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の資産につきましては、前期末に比べ971百万円減少しました。これはたな卸資産が684百万円増加するなどの増加要因があったものの、現金及び預金が1,546百万円および流動資産のその他が105百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前期末に比べ843百万円減少しました。これは買掛金が458百万円、未払法人税等が277百万円及び賞与引当金が87百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前期末に比べ128百万円減少しました。これは繰延ヘッジ損益が17百万円増加したものの、四半期純利益284百万円計上及び配当金の支払い375百万円により利益剰余金が91百万円並びにその他有価証券評価差額金が53百万円減少したことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月14日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,218	4,671
売掛金	5,614	5,675
商品及び製品	1,162	1,241
仕掛品	1,154	1,145
原材料及び貯蔵品	5,308	5,923
その他	833	727
流動資産合計	20,291	19,385
固定資産		
有形固定資産	4,403	4,403
無形固定資産	20	18
投資その他の資産	2,062	1,997
固定資産合計	6,485	6,420
資産合計	26,777	25,805
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,297	2,839
未払法人税等	403	125
賞与引当金	178	90
役員賞与引当金	45	13
その他	1,147	1,158
流動負債合計	5,072	4,226
固定負債		
退職給付引当金	754	766
資産除去債務	74	74
長期未払金	28	19
固定負債合計	857	860
負債合計	5,930	5,087
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,160	2,160
資本剰余金	3,082	3,082
利益剰余金	14,778	14,686
自己株式	△0	△0
株主資本合計	20,020	19,929
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	555	502
繰延ヘッジ損益	269	286
評価・換算差額等合計	825	789
純資産合計	20,846	20,718
負債純資産合計	26,777	25,805

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	5,721	6,748
売上原価	4,071	4,802
売上総利益	1,649	1,946
販売費及び一般管理費	1,304	1,619
営業利益	345	326
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	8	8
為替差益	17	149
雑収入	4	6
営業外収益合計	31	164
営業外費用		
支払手数料	1	1
保険解約損	—	0
雑損失	0	0
営業外費用合計	1	2
経常利益	375	488
特別損失		
固定資産除売却損	1	12
特別損失合計	1	12
税引前四半期純利益	374	475
法人税、住民税及び事業税	77	135
法人税等調整額	67	55
法人税等合計	144	191
四半期純利益	229	284

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	374	475
減価償却費	120	121
その他の償却額	0	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△89	△87
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△44	△32
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9	11
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△8	△8
支払手数料	1	1
有形固定資産除売却損益(△は益)	1	12
保険解約損益(△は益)	—	0
売上債権の増減額(△は増加)	△198	△60
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,578	△684
その他の資産の増減額(△は増加)	△85	99
仕入債務の増減額(△は減少)	234	△460
その他の負債の増減額(△は減少)	△90	△150
小計	△1,351	△761
利息及び配当金の受取額	8	8
支払手数料の支払額	△2	△2
法人税等の支払額	△297	△408
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,643	△1,164
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△98	△84
有形固定資産の売却による収入	0	0
有形固定資産の除却による支出	△0	△1
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
貸付金の回収による収入	0	0
保険積立金の積立による支出	△2	△2
保険積立金の解約による収入	—	12
その他	△0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△102	△75
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△380	△307
財務活動によるキャッシュ・フロー	△380	△307
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,126	△1,546
現金及び現金同等物の期首残高	7,912	6,203
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,785	4,656



## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合 計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,597	1,123	5,720	0	5,721
計	4,597	1,123	5,720	0	5,721
セグメント利益	224	121	345	0	345

(注) 1. 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	345
「その他」の区分の利益	0
四半期損益計算書の営業利益	345

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合 計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,549	1,196	6,746	2	6,748
計	5,549	1,196	6,746	2	6,748
セグメント利益	271	53	325	1	326

(注) 1. 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	325
「その他」の区分の利益	1
四半期損益計算書の営業利益	326

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。